

# 燕市・弥彦村 商工会景況調査報告書

実施主体 吉田商工会  
弥彦村商工会  
分水商工会

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

ア 対象地区 燕市・弥彦村商工会地区内小規模事業者  
イ 調査企業数 45 事業所 (うち小規模事業者数 43事業所)  
ウ 回答企業数 45 事業所 (うち小規模事業者数 43事業所)  
(回答率 100.0%)

### (2) 調査対象期間

令和4年7月 ~ 令和4年12月  
(調査時点 令和4年12月31日)

### (3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	8	17.8%	8	17.8%
建設業	12	26.7%	12	26.7%
卸・小売業	11	24.4%	11	24.4%
サービス業	14	31.1%	14	31.1%
合計	45	100.0%	45	100.0%

## 2. 製造業の景況概要

仕入単価の上昇に苦しんでいる事業所が多く見受けられるものの、景況感にはばらつきがあった。また受注の平坦化やDX化といった生産性の向上を目指す事業所も多く見られた。

### 【後継者の状況】

「後継者あり」「後継者なし」が半分ずつとなった。「後継者あり」の中でも、後継者への事業承継そのものに課題を抱えている事業所も見られた。

後継者 あり	4	50.0%
後継者 なし	4	50.0%

### 【売上高】

前回の調査ではコロナの影響で「減少」と回答する事業所が多かったが、今回では「増加」と「不変」がほぼ同じとなり、「減少」と答えたところは大きく減った。今後の見通しでは「不変」との回答が最も多くなった。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
4	3	1

#### 前期比

増加	不変	減少
4	3	1

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
2	5	1

### 【採算】

前年同期比、前期比において「不変」、「悪化」という回答がほぼ同数となり、今後の見通しを含めても、低調が続くと受け取れる結果となった。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
1	4	3

#### 前期比

好転	不変	悪化
2	3	3

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
1	4	3

### 【仕入単価】

いずれにおいても2/3が「上昇」、1/3が「不変」と回答し、「低下」と答えた事業所はいなかった。大きな変化はないものの今後しばらく仕入単価の上昇は続きそうである。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
5	3	0

#### 前期比

上昇	不変	低下
5	3	0

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
5	3	0

### 【販売（客）単価】

「不変」が最も多く、仕入単価の上昇を十分に転嫁できていない現状が見られた。下請けに当たる事業所が大半を占め、取引先への交渉もなかなか難しいようである。今後の見通しでも「不変」が最も多くなっている。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
4	4	0

#### 前期比

上昇	不変	低下
2	6	0

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
1	7	0

### 【資金繰り】

いずれも「不変」が最も多く、前回調査より「悪化」との回答割合は減ったが「好転」と答えた事業所は存在しなかった。何とか持ち堪えている状況が継続していると思われる。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
0	7	1

#### 前期比

好転	不変	悪化
0	7	1

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
0	7	1

### 【雇用動向】

「不変」が最も多く、「増加」と「減少」はほとんどなかった。「不変」と回答した事業所の中でも従業員不足に悩んでいる事業所は多く、前回調査に引き続き、全体的に人手不足が続いていると言える。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
1	6	1

#### 前期比

増加	不変	減少
0	8	0

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
1	7	0

### 【景況判断】

それぞれの回答が分散した結果となった。同じ製造業でも取り扱っている製品などにより、各社ごとに景況感に大きな差が生じている。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
3	3	2

#### 前期比

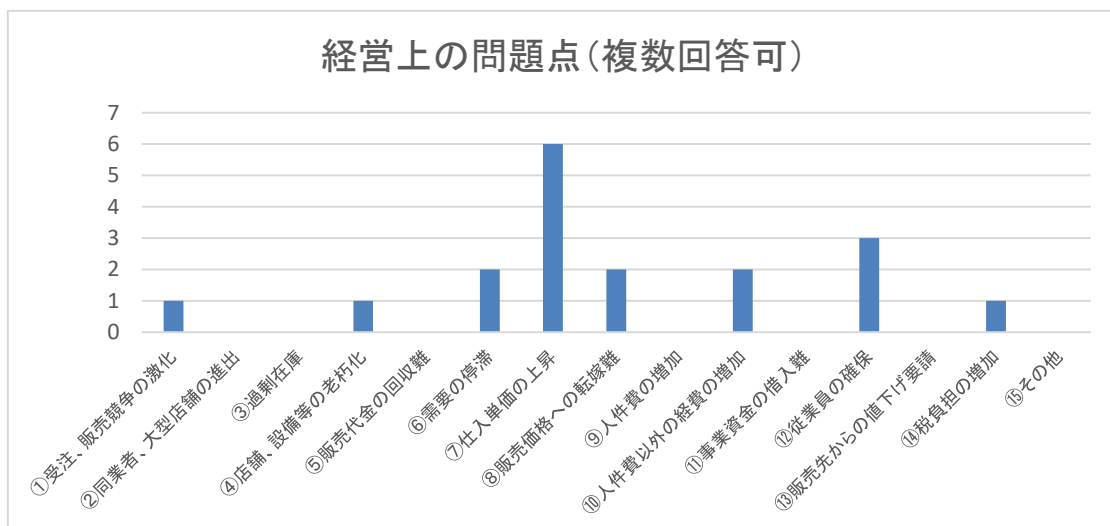
好転	不変	悪化
3	3	2

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
3	2	3

### 【経営上の問題点】

多い順に「仕入単価の上昇（6票）」「従業員の確保（3票）」「需要の停滞（2票）」「販売価格への転嫁難（2票）」「人件費以外の経費の増加（2票）」があげられている。



### 3. 建設業の景況概要

売上だけをみるとやや回復傾向にはあるが、ウクライナ情勢による資材不足や燃料高騰、外国為替レートの変動に大きく左右されている実態が明らかになった。また、前回調査に引き続き従業員の確保に課題を感じている事業所が多い。

#### 【後継者の状況】

「後継者なし」との回答が8割を超え、「後継者あり」を大きく上回った。経営課題とする事業所がなく、廃業を考えている事業所が多いと思われる。

後継者 あり	2	16.7%
後継者 なし	10	83.3%

#### 【売上高】

前年同期比、前期比は回答にばらつきがあったが、今後の見通しは「不変」、「減少」が多くを占めた。売上は回復傾向にあるものの、大きな回復は見込み難いようである。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
3	5	4	4	4	4	1	7	4

#### 【採算】

「好転」との回答はなく、「不変」もしくは「悪化」のみの回答結果となった。売上の回復が十分でないにもかかわらず、仕入単価の上昇が続き追い打ちをかけている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
0	7	5	0	7	5	0	8	4

#### 【仕入単価】

前年同期比、前期比ともに全事業所が「上昇」と答えた。今後の見通しにおいても「低下」と答えた事業所はゼロであり、経営上の課題として感じている事業所が散見された。今後も仕入単価の増加傾向は続きそうである。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
12	0	0	12	0	0	8	4	0

#### 【販売（客）単価】

「不変」が最も多くなっており、材料費や燃料の値上がり分を売上に転嫁できていない現状と今後も転嫁が厳しいことが伺える。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
4	8	0	4	8	0	3	8	1

### 【資金繰り】

「不変」が最も多く、次いで「悪化」が回答を占めた。「好転」との回答はなく、売上が伸びず、仕入単価の上昇で採算が悪化する中、何とか持ちこたえようとしている事業所が多く見られる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
0	10	2	0	10	2	0	8	4

### 【雇用動向】

「不変」との回答が最も多くなっているが、人材不足を訴える事業所も見られた。人手不足を解消するために「免許・資格取得の講習等、従業員の資質向上に力を入れていきたい」という声があった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
1	10	1	1	10	1	0	10	2

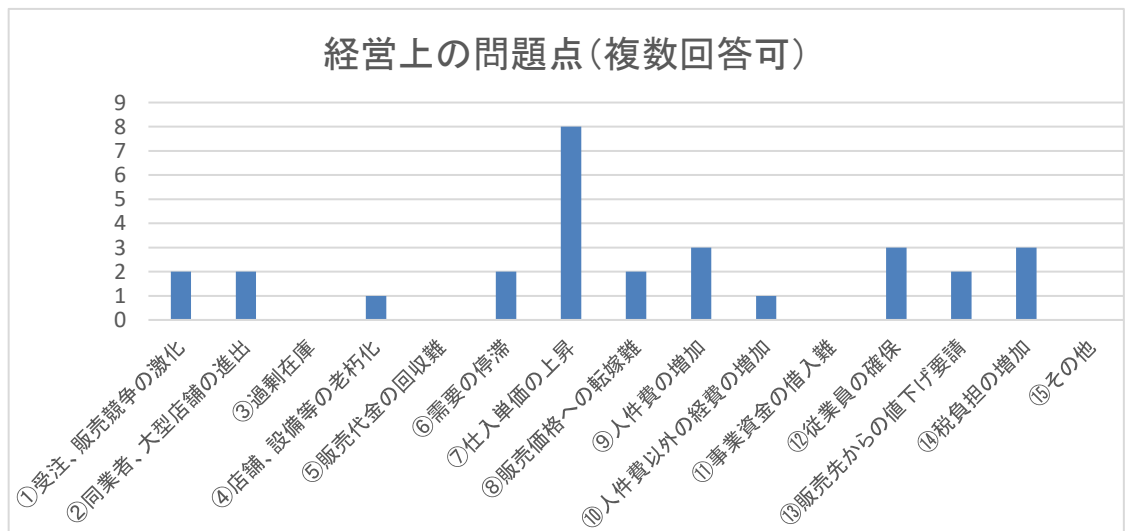
### 【景況判断】

「好転」と答える事業所は少なく、現状・今後の見通しともに「不変」と答える事業所が最も多くなっている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
0	10	2	0	11	1	1	7	4

### 【経営上の問題点】

多い順に「仕入単価の上昇（9票）」、「人件費の増加（3票）」、「従業員の確保（3票）」、「税負担の増加（3票）」があげられている。



#### 4. 卸・小売業の景況概要

仕入れ単価が上昇する一方、十分な価格転嫁ができず、資金繰りに苦労している事業所が多い。また、受注・販売競争の激化を受け、顧客の新規開拓や新規事業の参入など既存の事業内容を見直す動きも積極的にみられる。

##### 【後継者の状況】

事業主の高齢化が進み、「後継者なし」の割合が高い。事業承継を行わずに廃業を考える高齢事業主が多いと思われる。

後継者 あり	2	18.2%
後継者 なし	9	81.8%

##### 【売上高】

前年同期比、前期比は「増加」がそれぞれ最多となっているが、今後の見通しでは「不変」との回答に変わる事業所が多い。コロナ禍で大きく落ち込んだ時期よりも回復傾向にあると判断できるが、物価高などの影響が今後の見通しへの回答に反映されている。

##### 前年同期比

増加	不変	減少
5	2	4

##### 前期比

増加	不変	減少
5	3	3

##### 今後の見通し

増加	不変	減少
1	6	4

##### 【採算】

回答にややばらつきがみられるものの、今後の見通しにおける「好転」はゼロ。建設業同様、売上の回復以上に仕入れ単価が上昇していることが、採算を好転できない要因となっている。

##### 前年同期比

好転	不変	悪化
4	2	5

##### 前期比

好転	不変	悪化
4	3	4

##### 今後の見通し

好転	不変	悪化
0	7	4

##### 【仕入単価】

他の業種同様「上昇」との回答が大部分を占める。今後の見通しでは、8割以上が「上昇」、残りの2割は「不変」と答え原材料価格の高止まりが続くと考えられる。

##### 前年同期比

上昇	不変	低下
11	0	0

##### 前期比

上昇	不変	低下
11	0	0

##### 今後の見通し

上昇	不変	低下
9	2	0

##### 【販売（客）単価】

前年同期比と前期比、今後の見通しの全てにおいて各項目がほぼ同数となった。原材料の高騰分を価格に転嫁できている事業所とそうでない事業所があり、転嫁ができている事業所の中にも「十分な価格転嫁はできていない」との声が少なくなかった。

##### 前年同期比

上昇	不変	低下
4	3	4

##### 前期比

上昇	不変	低下
3	4	4

##### 今後の見通し

上昇	不変	低下
2	6	3

### 【資金繰り】

「不変」が最も多く、次に「悪化」が多くなっている。「好転」との回答はなく、経営上の問題点として資金繰りをあげる事業所もあった。傾向としては前回調査と同様である。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
0	7	4	0	7	4	0	9	2

### 【雇用動向】

卸小売業での回答者はすべて小規模事業者だったためか、従業員数に大きな変化はない。また従業員の確保に関してもあまり苦勞をしていないようである。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
0	10	1	0	10	1	0	10	1

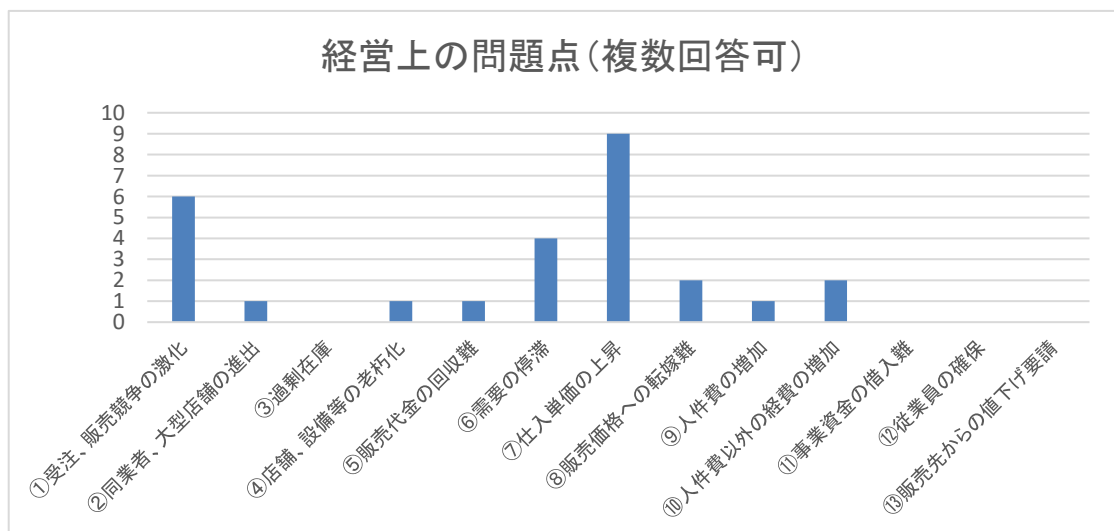
### 【景況判断】

前年同期比、前期比では「好転」との回答も少なからず見受けられ、事業所において差がある結果となった。一方、今後の見通しでは「好転」はゼロ、「不変」と「悪化」の回答が約半数ずつとなった。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
2	4	5	4	2	5	0	6	5

### 【経営上の問題点】

多い順に「仕入単価の上昇（9票）」「受注、販売競争の激化（6票）」「需要の停滞（4票）」があげられている。



## 5. サービス業の景況概要

令和4年は経済活動再開の動きもあり、売上はわずかながら回復傾向にあるようだが、世界的インフレが景況に大きな影響を与えている。設備投資や補助金等の活用による売上確保に向けた動きも見られた。

### 【後継者の状況】

「後継者なし」が「後継者あり」の2倍以上となっている。家族も含め従業員がいない場合、事業承継をせずに廃業を考える事業主が多いと思われる。

後継者 あり	4	28.6%
後継者 なし	10	71.4%

### 【売上高】

徐々に回復傾向の兆しが見え、「減少」の回答が少なくなってきたが、コロナ禍以前の水準までには戻っていない様子である。新潟県の新事業チャレンジ補助金、国の事業再構築補助金などを活用し、新たな取り組みを実施することで売上確保に努める事業所も見られる。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
6	5	3

#### 前期比

増加	不変	減少
4	5	5

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
4	6	4

### 【採 算】

前期比では「悪化」が最も多くなっているが、前年同期比および今後の見通しでは「不変」と「悪化」が拮抗するような状況になっている。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
2	6	6

#### 前期比

好転	不変	悪化
2	4	8

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
1	7	6

### 【仕入単価】

いずれも「上昇」が「不変」の2倍以上、「低下」はゼロという結果になった。他業種同様、仕入単価に関しては依然厳しい状況が続くと見込まれる。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
11	3	0

#### 前期比

上昇	不変	低下
11	3	0

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
10	4	0

### 【販売（客）単価】

「不変」が最も多くなっており、今後の見通しでは9割を超えている。度重なる仕入単価の上昇に対し、販売単価の転嫁で対応しきれない事業所も見られた。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
1	11	2

#### 前期比

上昇	不変	低下
2	11	1

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
0	13	1



### 【資金繰り】

「不変」と「悪化」がそれぞれ約半数ずつとなっており、「好転」はゼロであった。事業資金の借入難を訴える事業所もわずかながらあり、依然厳しい状況が続いていると伺える。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
0	8	6	0	7	7	0	7	7

### 【雇用動向】

小規模事業者のため従業員がいない事業所も多く、いずれもすべての回答が「不変」となった。しかし、従業員の高齢化から新たな若手従業員の確保を問題として抱える事業所も見受けられた。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
0	14	0	0	14	0	0	14	0

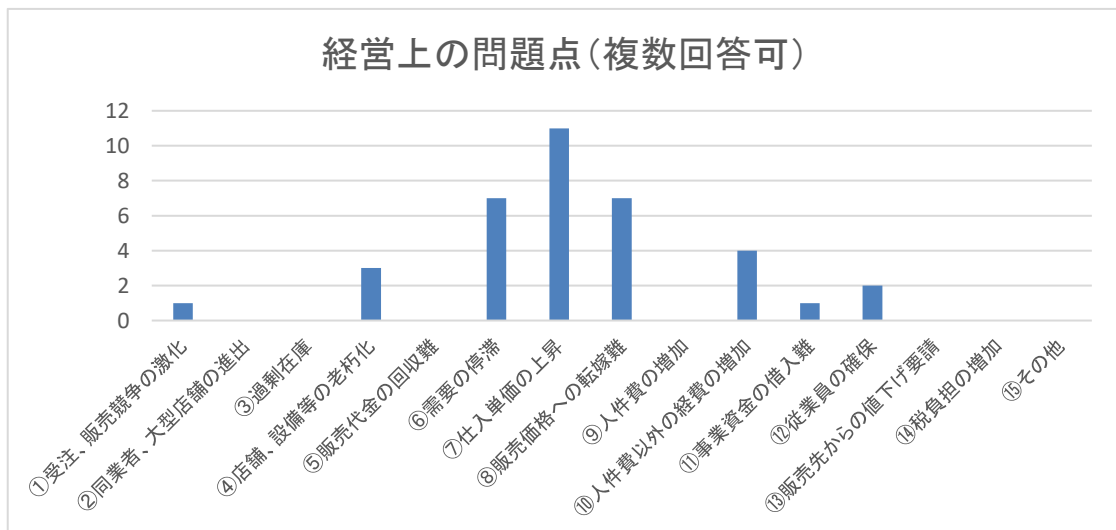
### 【景況判断】

「好転」との回答があるものの全体としては「不変」と「悪化」が拮抗するような結果となっており、コロナによる利用減少は一時期より落ち着いたものの、物価高騰による客足や売上の伸び悩みが景況判断につながっている様である。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
2	6	6	2	5	7	1	8	5

### 【経営上の問題点】

多い順に「仕入単価の上昇（11票）」「需要の停滞（7票）」「販売価格への転嫁（7票）」があげられている。



(様式⑤)

No.	
-----	--

### 景況調査ヒアリングシート（令和4年度）

調査対象期間 令和4年 7月～12月

（調査時点 令和4年12月31日）

商 工 会 名	弥彦村商工会	担当職員名	
企 業 の 概 要	業 種	1：製造 2：建設 3：卸・小売業 4：サービス他	
	従業員数	1：0人 2：1人～2人 3：3人～5人 4：6人～20人 5：20人超	
	企業区分	1：小規模事業者 2：小規模事業者以外	
	後継者の有無	1：有 2：無	

(1) 貴社の状況についてお答えください。(該当する番号に○を付してください。)

	前年同期(R3年7月～12月)と比較して	前期(R4年1月～6月)と比較して	今期(R4年1～6月)と比較した来期(R5年1～6月)の見通し
売 上	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
採算(経常利益)	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
仕 入 単 価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
販売(客)単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
資 金 繰 り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
雇 用 動 向	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
景 況 判 断	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化

(2) 貴社の経営上の問題点(下記より上位3つまでを選び、○を付してください。)

- ①受注、販売競争の激化
- ②同業者、大型店等の進出
- ③過剰在庫
- ④店舗、設備等の老朽化
- ⑤販売代金の回収難
- ⑥需要の停滞
- ⑦仕入単価の上昇
- ⑧販売価格への転嫁難
- ⑨人件費の増加
- ⑩人件費以外の経費増加
- ⑪事業資金の借入難
- ⑫従業員の確保
- ⑬販売先からの値下げ要請
- ⑭税負担の増加
- ⑮その他 ( )

(3) 今後の事業・経営において強化したい点(設備投資・販路開拓等)

--